

発言No. 8

受付No. 13

令和 4 年 6 月 7 日
10 時 3 分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 6 番

氏名 足立 豪

答弁を求める者
(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 プレミアム付「はまだ応援チケット」について

物価上昇等に伴う市民の皆様への経済支援および新型コロナウイルス感染症により疲弊した地域企業を応援するため、幅広い業種で使える応援チケットが令和4年5月28日(土)より販売された。

このことについて、現時点の状況を伺う。

(1) 販売目的について

①この度の販売目的は、市民への経済支援が優先されるのか、地域企業の応援が優先されるのか、最大の目的について伺う。

(2) 成果と今後の課題の検証方法について

①具体的な成果をどのように考えているか伺う。
②今後の課題の検証方法についてどのように考えているか伺う。

2 固定資産課税税率について

地方自治体の基幹税の一つである固定資産税は、浜田市の令和4年度当初予算でみると市税約73億のうち約39億であり、53%を占める最も重要な歳入である。

しかしながら、浜田市の固定資産課税税率は1.5%であり、国が定めた標準課税税率1.4%より0.1%高い状況である。これを踏まえ、以下のとおり伺う。

(1) 固定資産課税税率の推移と状況について

①浜田市の固定資産課税税率は現在1.5%であるが、いつからこの税率になったのか伺う。

- ②これまで、固定資産における標準課税税率を上回る徴収をした金額の総額を伺う。
- ③上回る金額を徴収し、どのように地域に活用されたのか伺う。

(2) 課税税率の見直しについて

- ①浜田市の高齢化率 37.76% (R4.5月末) と、今後の加速度的な人口減少の中で課税税率の見直しについて伺う。

3 浜田市の介護の現状について

浜田市の高齢者の方々がこれまでと同様に安心して住むことができるよう、この地域の保険者である浜田地区広域行政組合では「住みなれた地域で自分らしく暮らしていくことができる圏域」を目指すべき姿として設定された、第8期介護保険事業計画を浜田市として実行するための具体的内容について伺う。

(1) 浜田圏域外への介護報酬流出について

- ①毎月 7,000 万円～7,500 万円、年間に換算すると、8～9 億円のこの地域の介護保険料が流出している現状についてどのように受け止めているのか伺う。

(2) 介護医療院について

- ①平成 30 年 4 月に創設された「介護医療院」は、長期的な医療と介護のニーズを併せ持つ高齢者を対象とし、「日常的な医学管理」や「看取りやターミナルケア」等の医療機能と「生活施設」としての機能とを兼ね備えた施設であるが、整備状況について伺う。
- ②この地域で人生の最後まで過ごせる環境整備について伺う。